



ぴっぴだより

No.5. 2014. 7. 18

県・町・地域と関わることの多い一学期でした。大くりさんの4人は南保育園の年長さん達と一緒に保育園の園バスに乗って中部小に行ってきた。一年生の音楽会練習風景を見るためです。広い廊下・たくさん生徒・授業風景……初めて見る場面に4人は目を見張っていました。ハチロクq. 軽井沢kqの年長さん達とも今後関わる予定です。幼・保・小中の先生達が集まった研修会もありました。

県では今 信州型自然保育導入に向けて動いています。一般の幼・保にも自然を生かした保育を取り入れたいので、その普及プログラムを考えてほしいと野外保育連盟に打診がありました。ぴっぴも普及プログラムを考え合いました。ぴっぴの子ども達としてプログラムを参考に組み立てたのに紙面にすると、本当につまらぬプログラムに感じてしまうので、自然体験はぴっぴの子ども達にとって生活や暮らしで、プラスαが絡み合っておもしろくなるのだと気づきました。プログラムだけ切り取っても理解はしてもらえないでしょう。長野県の子ども達がのびのび生活をしていくことを願っています。今 暮らしの若しの中にある信州型自然保育検討委員会です。

この一学期も子ども達と大くりさんの絵本を楽しみました。「明日は何を読もうかな」と各々のグループの子ども達の顔を見ながら準備するのは本当に楽しいひとときです。ぴっぴとくろくくを選んだ時、嬉しかったです。基本的には、わが家の絵本達を季節毎、年令毎、分野毎で選んでいます。年に何回か東京は銀座のナレーン国(教文館)で二時間講座に参加し、どきり配達を頼みます。日々大くりさんの絵本が出版される現在、新刊本の数は読みきれない程度。その中に「書きかえられたお話たち」が大くりさん出回っていることも耳に入ります。例えば「おにぎりあひるのこ」書きかえた人にとってはおにぎりあひるのこが「仲間に入れてほしい」と近寄って行ったら冷たく足蹴にされることのくり返しかな 子どもにとってはおにぎりあひるのこがよいと思ったのでしょう。「そうしたら嫌だな」と感じるのはおにぎりあひるのこをすべて丸くおさめてめでたし——のお話に作りかえられているので。子どもが本来、自分の力を直面し、出合っていく中で学んでいく様々な体験を親に伝えているのと同じで、子ども達がお話を通して感じる思いは、昔話ほど深く人生を語っているように思えます。子ども達が絵本を通じて感じる、おにぎりあひるのこさんな体験をいっぱいしてほしいなと願っています。

真弓

おおきくみだより

7月10日は月に一度のお料理の日でした。今回のメニューは冷やし中華！みんな大好きなメニューなのでバリエーションがわき、前日から目を輝かせて楽しみにしていました。まつまろくりさんは、大ききくみに仲間入りして3度目のお料理。初めてのときは「どんなことをやるんだろう？」という感じでしたが、前回、前々回と経験して、「お料理するんだよね！」「エプロン、もってくるの？」と、わくわくする気持ちが膨らみ、やる気いっぱいでした。

キュウリ、なす、にんじん、卵と、具材を切るお仕事が大くりさんありましたが、みんな包丁で切るのがもっとやりたい様子でした。大くりさん4人の慣れた手つきはさすが！こちらが助かるくらいよく切ってくれていました。「もっとできるよ」「今度はどの具を切ろうかな」と最後まではりきり、楽しんで取り組んでいる姿が頼もしかったです。そんな姿に、まつまろくりさんも引かれ、料理が完成した後のテーブルの準備まで全員で楽しみながら手伝ってくれました。自分たちで作った冷やし中華もデザートも「おいしい〜！」と笑顔いっぱいの子どもたち。肩を寄せ合いおしゃべりも弾み、素直なひとときでした。

お腹がいっぱいになった後、俊林くん、行人くん、真寛くんたちが「かぞめかぞめ」をはじめると、だんだん仲間が増えていき、いつの間にかほとんど全員に「あそび」が上がり！蓮香ちゃんや奏くんがリードしながら、大人が入らずとも長い時間あそびが続いていました。何にもないところから自分たちで「あそび」をつくりだし、みんなにも楽しめるのかと、そのパワフルさ、あそびの豊かさに驚かされていました……

毎日一緒に過ごすなかで、共通の体験を日々積み重ねている仲間たち。「こんなことが楽しい！」と同じように思える心があれば、言葉はいらずにつながることができるのだなと、子どもたちの姿を見て感じました。年齢ごとのくくりもよく、くっつき合って遊ぶ姿はまるで、大きな兄弟、姉妹のようでもありました。

そんな姿は、どんぐりさんにもひろがりつつあります。大ききくみの男の子たちがおおきみごっこや戦いごっこをやっていると、楽しそうな姿につられて、気がつくと一緒に森を駆けぬけていたり、ねこちゃんごっこやおかあさんごっこの、本物さながらのお料理や、お母さん役の子の優しい声に引きつけられて、思わず入っていったり……これからどんどんあそびがひろがり、いくのが楽しみです！

淳美

二学期の保育日

	月	火	水	木	金	ひは ひび 保育日
9月		2 ※1	3 ※2	4 お	5 ※3	おは おおきくみ 保育日
	8 お	9 ※1	10 ※2	11 お	12 ※3	※1 入園説明会
	敬老 の日	16 ※1	17 ※2	18 お	19 ※3	※2 2学期 保育開始日
	22 お	秋分 の日	24 ※2	25 お	26 ※4	※3 来年度 おおきくみ 継続説明会 9:20~
10月	※8 29 お	30 ※1	1 ※2	2 ※5	3 ※3	※4 継続申込み 締め切り日
	6 お	7 ※1	8 ※2	9 お	10 ※3	※5 くり・大り 清里キャンプ説明会 9:20~
	体育 の日	14 ※1	15 ※2	16 松 ※6	17 ※7	※6~7 くり・大り 清里キャンプ
	20 お	21 ※9	22 ※2	23 お	24 ※3	※6 松ぼっくり 通常保育
11月	27 お	28 ※1	29 ※2	30 お	31 ※3	※7 どんぶり・松ぼっくり 休園日
	文化 の日	4 ※1	5 ※2	6 お	7 ※3	※8 9月下旬~10月上旬 稲刈り
	※10 10 お	11 ※1	12 ※2	13 お	14 ※3	※9 保護者会 9:20~
	※11 17 お	18 ※1	19 ※2	20 お	21 ※3	※10 10/10~14 個人面談
12月	振替 休日	25 ※1	26 ※2	27 お	28 ※3	※11 11月中旬 収穫感謝の集い
	1 お	2 ※1	3 ※2	4 お	5 ※3	※12 保護者会 9:20~
	8 お	9 ※12	10 ※2	11 お	12 ※3	※13 小さなクリスマスの集い
	15 お	16 ※1	17 ※2	18 お	19 ※3	※ 二学期の 森づくり日 9/14(日) 10/12(日) 10/9(日)

※1 入園説明会
※2 2学期 保育開始日
※3 来年度 おおきくみ
継続説明会 9:20~
※4 継続申込み 締め切り日
※5 くり・大り 清里キャンプ説明会
9:20~
※6~7 くり・大り 清里キャンプ
※6 松ぼっくり 通常保育
※7 どんぶり・松ぼっくり 休園日
※8 9月下旬~10月上旬 稲刈り
※9 保護者会 9:20~
※10 10/10~14 個人面談
※11 11月中旬 収穫感謝の集い
※12 保護者会 9:20~
※13 小さなクリスマスの集い
※ 二学期の 森づくり日
9/14(日) 10/12(日) 10/9(日)
※ 二学期の くるみの日
9/17(日) 10/15(水)

軽井沢 森のデイキャンプのお知らせ

ライジングフィールドにて 夏休み 軽井沢に遊びに来られた方を対象に 森のデイキャンプを開きます。詳しくは ライジングフィールド 軽井沢 HP をご覧ください。お知り合いの方にも お知らせください。また 定員に空きが ありましたら、ひび 在園の方への参加も可能です。

田んぼでより

田んぼの稲は青々と大きくはなってきました。茎の本葉が濃く、葉の色も濃くなっています。うれしい初夏の風景です。夕方田んぼの水をいれに行くと、つがいの鴨がスイスイと田んぼを泳いでいます。サギがゆつりとエサをついばんでいることもあります。きつと虫やどいよなど、鳥たちのエサが豊富なようです。

田んぼに除草剤や化学肥料を使わない農法には、有機農業など色々ありますが、おうちの田んぼは「自然農」に近いやり方を取り入れています。有機農業は落ち葉や野菜くずなどで堆肥や肥料として土に足すことが、自然農はその場所にある草やわら、米ぬかのみを肥料とし、他から何かを足すということをしません。傾斜地や他の場所の落ち葉を使う堆肥を作り田んぼに足すと、元々そこにはいるかいた虫や菌も足してあげるため、食物連鎖や生態系が崩れて、そこにいるかいた病気が発生して、循環のサイクルが壊れることがあります。自然農はそこにあるものを活かして作物を作るので、極端に大きく育てるということとは真逆のようですが、元々その作物が持つ、特徴や力を活かして、できる範囲のものを作りたい、という考えです。

浅間山麓の湧き水を冬も入れられるこの田んぼには、多様な生きものが育ち、その有機物が堆積して栄養豊かな土が育ちます。その生きものをエサにする鳥たちも集まってくるわけですね。夜にはホタルが舞い始めました。無農薬で7年、少しづつその光が増え、うれしいことです。美和子。

ひびの森の動物たち あしあとだ〜れだ? <7月 テン>

キイチゴ、クワの実、アブラチャンにミツバウツギ... 実りの季節は秋、と思いがちですが、今の季節になる前の実は黄タビにたくさんあります。

子どもたちのおまご、お散歩のお供に大活躍の夏の木の実は、そんな木の実はもちろん動物たちにとっても大事な食料です。

キイチゴ、クワはクマが、アブラチャンはアカネズミ、ミツバウツギはイカルなどの鳥たち。そして今月紹介するテンはキイチゴ、クワをよく食べ、木登りが得意で、木に登って様々な果実を食べています。これらの木のつまみ、フンを森の中でみつけることもあります。実際には雑食で昆虫、鳥類、ほし類、いも虫類と何でも食べてしまいます。

昔話や伝承などに登場するテンはキツネやタヌキを上回る能力をもっといって、イタチが数匹をへて魔力をもつタヌキがテンであるという話もあります。

ふわふわとかわいらしい本毛、小さな耳をもつ目は、いんちも食べてしまうというギャップがそんな話をうんだのでしょうか? いずれにしても、今より、テンと人との関わりは大きく、たくさんの方がうまれたので、足跡をたよりに、みなさんもテンの姿をみつけて、新しい話を聞かせてください。



菜々恵

